



## 平成 22 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 8 月 11 日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 5957 URL <http://www.nittoseiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 展康  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部門担当 (氏名) 小林 善朗 (TEL) 0773(42)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 平成 22 年 9 月 13 日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 12 月期第 2 四半期	12,716	43.0	1,255	—	1,280	—	698	—
21 年 12 月期第 2 四半期	8,893	—	△361	—	△340	—	△331	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22 年 12 月期第 2 四半期	17	73	—	—
21 年 12 月期第 2 四半期	△8	40	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22 年 12 月期第 2 四半期	31,412	18,503	55.1	439	35
21 年 12 月期	29,739	18,019	56.4	425	37

(参考) 自己資本 22 年 12 月期第 2 四半期 17,315 百万円 21 年 12 月期 16,766 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21 年 12 月期	—	2 00	—	3 00	5 00	—
22 年 12 月期	—	3 00	—	—	—	—
22 年 12 月期(予想)	—	—	—	3 00	6 00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	24,800	15.8	1,880	289.4	1,870	313.7	860	94.8	21	82

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期2Q	40,385,017株	21年12月期	40,385,017株
22年12月期2Q	974,619株	21年12月期	969,392株
22年12月期2Q	39,413,962株	21年12月期2Q	39,427,951株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の回復力は弱く、個人消費も盛り上がりには欠けるなどデフレ傾向が続きましたが、アジア向け輸出の増加や政府景気対策の効果が持続するなか、企業収益は改善しつつあり、景気は緩やかな回復基調のもとで推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、第2年度を迎えた中期計画「日東パワーアッププラン」を目標に、収益力の強化、グローバル展開の推進、事業領域の拡大などの重点方策を推進し、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高127億1千6百万円（前年同期比43.0%増）、営業利益12億5千5百万円（前年同期は3億6千1百万円の営業損失）、経常利益12億8千万円（前年同期は3億4千万円の経常損失）、四半期純利益6億9千8百万円（前年同期は3億3千1百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

## &lt;ファスナー事業&gt;

当事業につきましては、中国など新興国市場の回復とエコカー購入補助金、エコポイントなどの政府景気対策の追い風を受け、自動車関連業界、デジタル家電業界など主な需要先の生産回復傾向が鮮明となり、当事業の受注も順調に回復しました。

このような状況のもと、エネルギー関連など将来有望な市場に的を絞ったセールス活動や、ファスニングソリューション（締結工程における課題解決）を提案する営業活動を展開し、「精密ねじ」など主力のねじ製品、「CPグリップ」などの特殊締結部品がともに堅調に推移しました。

この結果、売上高95億3千1百万円（前年同期比43.9%増）、営業利益10億8百万円（前年同期は1億6千9百万円の営業損失）となりました。

## &lt;産機事業&gt;

当事業につきましては、一部アジア市場向け設備に明るさが見えたものの、自動車関連業界など主な需要先の設備過剰感は払拭されず、投資が抑制される厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、推力可変機能を追加し、より高品質の締結を狙った単軸ねじ締め機「FM512V Z」や、小型・軽量化した新型「KXドライバ」を市場投入するなど需要喚起に努め、ねじ締めロボットなどの標準機種製品は持ち直しましたが、自動組立ラインは低調に終始しました。

この結果、売上高21億8千3百万円（前年同期比57.5%増）、営業利益1億1千7百万円（前年同期は2億4千4百万円の営業損失）となりました。

## &lt;制御他事業&gt;

当事業につきましては、化学・薬品業界など主な需要先の設備需要が低水準にとどまり、主力製品の流量計、計装システム製品の需要は伸び悩みました。一方、機器点検制度を糸口に更新需要の開拓に努めた地盤調査機「ジオカルテⅡ」は好調に推移しました。

この結果、売上高10億1百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益1億2千8百万円（前年同期比146.8%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ16億7千2百万円増加し、314億1千2百万円となりました。

また、当第2四半期末における負債は、支払手形及び買掛金や未払金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11億8千8百万円増加し、129億9百万円となりました。

なお、当第2四半期末における純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億8千3百万円増加し、185億3百万円となっております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、為替相場の動向や主要市場における需要環境などが極めて不透明な状況にあり、引き続き予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況におきまして、当社グループは、グローバル競争を意識し、世界市場での受注拡大策を展開するとともに、品質・生産性の向上、コスト削減などの生産革新活動を強力に推進してまいります。

当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成22年12月期の通期（平成22年1月1日～平成22年12月31日）の業績予想を、平成22年8月4日に変更しております。詳細につきましては、8月4日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### (一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### (棚卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を実施しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### (固定資産の減価償却費の算定方法)

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の取得、売却及び除却等については、実績に基づいております。

#### ②特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,420,582	6,834,949
受取手形及び売掛金	7,332,994	6,863,342
商品及び製品	1,041,446	899,173
仕掛品	1,580,329	1,450,481
原材料及び貯蔵品	1,075,990	1,085,547
繰延税金資産	89,407	66,493
その他	1,734,629	1,242,423
貸倒引当金	△8,642	△9,641
流動資産合計	20,266,737	18,432,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,626,295	2,719,531
機械装置及び運搬具(純額)	1,739,482	1,851,291
土地	4,187,493	4,198,481
建設仮勘定	61,659	22,730
その他(純額)	238,657	250,045
有形固定資産合計	8,853,588	9,042,080
無形固定資産		
ソフトウェア	8,453	10,744
その他	20,525	21,261
無形固定資産合計	28,979	32,005
投資その他の資産		
投資有価証券	832,524	799,021
長期貸付金	4,781	1,696
繰延税金資産	1,240,265	1,250,918
その他	185,414	181,610
貸倒引当金	△231	△276
投資その他の資産合計	2,262,754	2,232,970
固定資産合計	11,145,323	11,307,055
資産合計	31,412,061	29,739,824

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,590,198	3,181,761
短期借入金	2,755,213	2,872,381
未払金	1,983,066	1,795,323
未払法人税等	487,267	140,848
賞与引当金	134,258	144,087
その他	973,175	551,282
流動負債合計	9,923,178	8,685,684
固定負債		
長期借入金	1,360,808	1,372,080
繰延税金負債	37,868	—
退職給付引当金	1,392,896	1,486,494
役員退職引当金	96,900	88,100
その他	97,389	88,287
固定負債合計	2,985,862	3,034,961
負債合計	12,909,040	11,720,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,631,730	2,631,730
利益剰余金	12,258,213	11,678,189
自己株式	△282,610	△281,135
株主資本合計	18,129,913	17,551,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,059	37,773
為替換算調整勘定	△861,960	△822,835
評価・換算差額等合計	△814,900	△785,062
少数株主持分	1,188,007	1,252,875
純資産合計	18,503,020	18,019,178
負債純資産合計	31,412,061	29,739,824

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,893,296	12,716,170
売上原価	7,606,996	9,712,344
売上総利益	1,286,300	3,003,826
販売費及び一般管理費	1,647,620	1,748,604
営業利益又は営業損失(△)	△361,320	1,255,221
営業外収益		
受取利息	10,284	6,968
受取配当金	4,323	4,146
受取賃貸料	39,461	45,119
為替差益	49,068	—
持分法による投資利益	—	23,287
その他	49,778	65,760
営業外収益合計	152,916	145,282
営業外費用		
支払利息	42,375	38,149
賃貸収入原価	46,003	41,671
為替差損	—	12,024
持分法による投資損失	23,010	—
その他	20,230	28,024
営業外費用合計	131,619	119,870
経常利益又は経常損失(△)	△340,023	1,280,633
特別利益		
固定資産売却益	21	—
投資有価証券売却益	—	414
貸倒引当金戻入額	5,675	1,119
特別利益合計	5,696	1,533
特別損失		
固定資産処分損	4,148	1,392
投資有価証券評価損	—	4,904
特別損失合計	4,148	6,297
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△338,475	1,275,869
法人税、住民税及び事業税	71,821	491,504
法人税等調整額	△95,961	7,379
法人税等合計	△24,139	498,884
少数株主利益	17,041	78,206
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△331,376	698,779

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△338,475	1,275,869
減価償却費	393,564	353,253
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,641	△851
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,520	△6,398
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△232,714	△93,547
役員退職引当金の増減額(△は減少)	△60,300	8,800
受取利息及び受取配当金	△14,607	△11,115
支払利息	42,375	38,149
持分法による投資損益(△は益)	23,010	△23,287
有形固定資産処分損益(△は益)	4,148	1,392
有形固定資産売却損益(△は益)	△21	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△414
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,904
売上債権の増減額(△は増加)	3,605,801	△482,782
たな卸資産の増減額(△は増加)	508,810	△270,558
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,783,128	405,223
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,297	27,725
未払費用の増減額(△は減少)	208,910	395,144
その他	△896,268	△330,559
小計	1,368,645	1,290,948
利息及び配当金の受取額	15,179	10,800
利息の支払額	△46,158	△44,450
法人税等の支払額	△548,676	△133,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,988	1,123,811
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△322,311	△163,331
定期預金の払戻による収入	84,328	92,929
有形固定資産の取得による支出	△235,037	△147,563
有形固定資産の売却による収入	423	9,144
投資有価証券の取得による支出	△600	△726
投資有価証券の売却による収入	—	2,335
貸付けによる支出	△2	△4,246
貸付金の回収による収入	1,480	1,161
その他	△790	△1,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472,509	△212,012

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	73,392	△20,492
長期借入れによる収入	380,000	—
長期借入金の返済による支出	△165,124	△107,948
自己株式の売却による収入	831	—
自己株式の取得による支出	△2,746	△1,474
配当金の支払額	△277,153	△118,755
少数株主への配当金の支払額	△99,775	△99,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,577	△348,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	55,549	△45,823
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	281,451	517,346
現金及び現金同等物の期首残高	4,501,384	5,173,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,782,835	5,691,049

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	ファスナー (千円)	産機 (千円)	制御他 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,625,071	1,386,315	881,909	8,893,296	—	8,893,296
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,625,071	1,386,315	881,909	8,893,296	—	8,893,296
営業利益又は営業損失(△)	△169,398	△244,178	52,256	△361,320	—	△361,320

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	ファスナー (千円)	産機 (千円)	制御他 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,531,466	2,183,521	1,001,181	12,716,170	—	12,716,170
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,531,466	2,183,521	1,001,181	12,716,170	—	12,716,170
営業利益	1,008,678	117,551	128,991	1,255,221	—	1,255,221

(注) 1 事業区分の方法

当社グループにおける製品の範囲は極めて多岐にわたっていますが、製造方法、販売方法等の類似性及び当社グループの売上高に照して区分しました。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) ファスナー 工業用ファスナー、工業用ファスナー締付工具などの金属製品  
(2) 産機 自動ねじ締め機、自動組立機械などの一般機械器具  
(3) 制御他 流量計などの精密機械器具、LPG充填装置、地盤調査機

3 会計方針の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ファスナー」、「産機」の営業損失がそれぞれ75,540千円、7,784千円増加し、「制御他」の営業利益が107千円減少しております。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,313,560	1,487,314	92,422	8,893,296	—	8,893,296
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	325,810	72,702	—	398,513	(398,513)	—
計	7,639,371	1,560,016	92,422	9,291,810	(398,513)	8,893,296
営業利益又は営業損失(△)	△348,330	800	△28,681	△376,211	14,891	△361,320

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,865,488	1,850,681	—	12,716,170	—	12,716,170
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	270,137	67,538	—	337,675	(337,675)	—
計	11,135,625	1,918,219	—	13,053,845	(337,675)	12,716,170
営業利益	1,121,343	139,280	—	1,260,623	(5,402)	1,255,221

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア——台湾、インドネシア、タイ、中国

(2) その他の地域——米国他

3 会計方針の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」の営業損失が73,163千円増加し、「アジア」の営業利益が10,269千円減少しております。

## 〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,743,031	200,173	1,943,205
II 連結売上高（千円）			8,893,296
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.6	2.3	21.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	2,080,862	286,098	2,366,961
II 連結売上高（千円）			12,716,170
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.4	2.2	18.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア——台湾、インドネシア、タイ、中国

(2) その他の地域——米国、欧州諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

単位：千円（未満切捨て）

事業部門別	前第2四半期 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		当第2四半期 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	
	ファスナー	4,650,375		7,533,717
産機	1,115,192		2,217,016	
制御他	847,315		966,701	
合 計	6,612,884		10,717,435	

## ②受注状況

単位：千円（未満切捨て）

事業部門別	前第2四半期 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		当第2四半期 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ファスナー	6,724,803	1,977,353	9,834,637	2,784,868
産機	1,107,097	1,238,124	2,091,195	942,630
制御他	867,155	299,797	1,012,039	276,129
合 計	8,699,056	3,515,275	12,937,872	4,003,628

## ③販売実績

単位：千円（未満切捨て）

事業部門別	前第2四半期 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		当第2四半期 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	
	金 額		金 額	
ファスナー	6,625,071		9,531,466	
産機	1,386,315		2,183,521	
制御他	881,909		1,001,181	
合 計	8,893,296		12,716,170	